

一般社団法人粉体工学会
第55回技術討論会[講演ならびに出展募集]

「粉体連続生産における高度プロセス制御のための装置・計装・測定・評価技術」

主催：(一社)粉体工学会

共催：(一社)日本粉体工業技術協会 計装測定分科会

粒子加工技術分科会

大阪府立大学 資源循環工学研究所

協賛：(公社)化学工学会粒子流体プロセス部会

日時：2021年7月5日(月)～6日(火)

会場：オンライン開催 (Zoom を使用予定)

医薬品の製造では製造管理および品質管理に関する基準 (Good Manufacturing Practice:GMP) の下、高品質で安全性の高い医薬品が供給されている。このためには、原材料の入荷、混合、造粒などの各製造プロセス、製品の包装など様々な場面で定量的な粉体物性、特性、状態の把握が必要となる。近年、運転時間により生産量が調整できること、スケールアップ検討の必要がほとんど無いこと、製造設備が省スペース化できることなどの観点から、連続生産プロセスの構築が期待されている。このような高度に品質管理した粉体を連続プロセスで生産するには、その基礎として、プロセスやその構成要素である単位操作の制御指標となる粒子・粉体の物性・特性を把握する必要がある。その上で、把握した物性・特性をインラインやオンラインで把握できる計装装置が必要となる。さらに、それら計測値に基づくプロセス解析技術 (PAT) の構築が必要となる。

この連続生産プロセスでの品質管理の問題、課題は医薬品製造だけでなく、機能性高分子材料や無機材料などの粉体製造に対しても共通の問題である。そこで本討論会では、医薬品製造に限らず、種々の粉体連続生産プロセスを対象として、その構成要素である単位操作の制御、状態把握に利用できる粒子物性・特性の測定・評価技術および、そのプロセス制御に利用できる計装技術やこれらを取り入れた製造機器について情報交換し、さらなる高度制御のための課題を議論する場としたい。製剤、食品、化粧品、繊維、セラミックス、プラスチック、電子部品、電池製造などの幅広い分野からの技術者・研究者はもちろんのこと、プロセス解析の観点からシミュレーション分野からの情報提供をお願いしたいと考えている。

オーガナイザー：山本 浩充(愛知学院大学)、仲村 英也 (大阪府立大学)

笹邊 修司(ホソカワミクロン)、後藤 邦彰(岡山大学)

講演種別：特別講演、依頼講演、一般講演、製品紹介講演を含む広告掲載

申込締切：一般講演、特集号投稿、広告 2021年4月28日(水)

原稿提出締切：講演要旨(2ページ)、広告(1ページ) 2021年5月28日(金)

一般講演申込：WEB サイト <http://www.sptj.jp/event/tech/> よりお申込みください。

講演要旨集の原稿作成に際してはホームページの「執筆要綱」をご覧ください。

粉体工学会誌技術討論会特集号への投稿希望の有無をお知らせください。

広告申込：会社名、連絡先(住所、部署、担当者名、TEL、FAX、E-mail)を明記のうえ、下記申込先まで極力E-mail(FAX、郵送でも可)でお申し込みください。

広告料：30,000 円（講演要旨集内に 1 ページ）

※ 広告掲載一覧プログラム中に掲載します。pdf 版のプログラムからご指定の URL にリンクを張ることができます。

参加費：法人・個人会員：5,000 円、学生会員：2,000 円、非会員:8,000 円

※先行振込(2021 年 6 月 28 日(月)振込まで)のみ。当日支払不可)

*参加募集は 5 月中旬開始を予定しています。

申込先：一般社団法人粉体工学会

〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町 181 第 5 キョートビル 7 階

TEL：075-351-2318 FAX：075-352-8530 Email：office@sptj.jp

なお、講演申込が予定数になりましたら締め切らせていただきます。

また、プログラム等の詳細は粉体工学会の WEB サイトにてお知らせします。